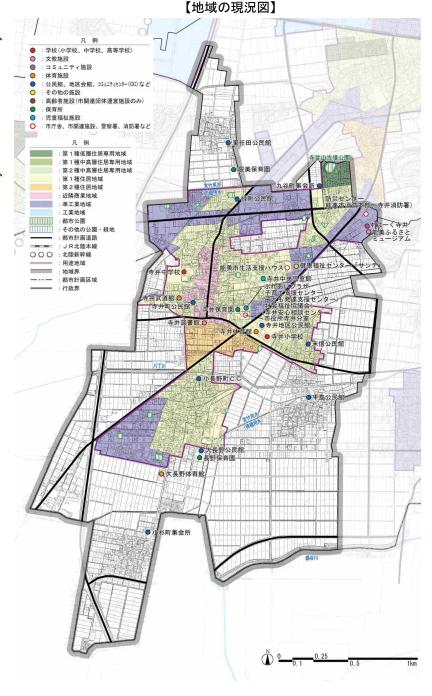
4. 寺井地域

1)地域の現況

(1) 概況

- ・本市の中央部に位置し、古くから市街地が形成されてきた地域です。(都)大成末寺線や (都)国道線(旧国道8号)沿線に商業地が集積していますが、かつて中心商業地として 発展してきた(都)寺井吉光線沿線の商店街は、近年では社会情勢の変化もあり商業機 能の低下が進行しています。
- ・住居地、商業地、工業地が連担する一団の市街地を中心に、周辺には既存集落が形成されています。
- ・中心部には市役所寺井 分室や寺井地区公民館、 寺井図書館、寺井中学 校や寺井小学校などの 行政・文教施設、福祉子 育ての拠点施設でを健康 るいプラザや健康 福祉センター「サンテ」、 防災センター、能美ふ あいだとミュージア るさとミュージす。



(2)人口

- ・人口は2015年時点で8,455人であり、2010年から2015年にかけてほぼ横ばいでしたが、2040年には2015年比で約1割減少(▲727人)すると推計されています。
- ・年齢構成は、2015 年時点は 65 歳以上が 24%でしたが、2040 年には 32%になり、 特に 75 歳以上が 17%になると推計されて います。

【人口の推移と将来推計】



出典:能美創生人口ビジョン

(3)交通

- ・本地域には市外へアクセスできる国道8号や(都)国道線(旧国道8号)が地域を縦貫しています。
- ・都市計画道路は、旧北国街道である(都)寺井吉光線や、市内の東西を結ぶ(都)大成末 寺線などがあります。また、地域の南部では、能美東西連絡道路の整備が進行しており、 東西の連携強化が進められています。
- ・民間交通事業者によるバス交通が運行するほか、コミュニティバス「のみバス」について は寺井循環バスと市内の東西を広域的に結ぶ連携バスが運行し、結節点になっています。

(4) 地域環境

- ・地域の南部にはまとまった優良農地があり、市特産品のハトムギが生産されるなど田園景 観が広がりを見せています。
- ・地域内には八丁川や宮竹用水が流れているほか、ふるさとの歴史を語る貴重な資源として、 国指定史跡の能美古墳群である寺井山古墳公園があります。

【能美ふるさとミュージアム】

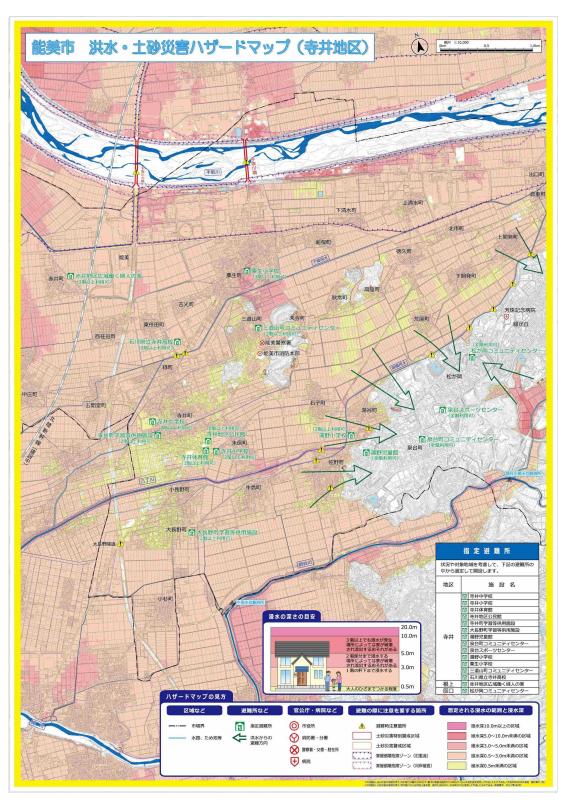


【寺井山古墳公園】



(5) 災害

・本地域では河川の洪水による浸水想定区域が全域に指定されており、特に地域の北部・ 南部では浸水深が大きくなっています。



【洪水・土砂災害ハザードマップ】

(6) 住民意向

- ・市民満足度調査(2017年都市計画関連分野)では、地域全体の平均値よりも満足度の値が低く、重要度の値が高い項目として、「居住環境の充実」「適正な土地利用の推進」「道路の維持・整備」が挙げられます。
- ・これまでのタウンミーティングでの主な意見は、「UIターンの推進、地元就職支援の強化」「空き家の活用」「駅に観光案内所を設置」「寺井図書館周辺に情報発信基地を設置」「空き家などを活用した九谷焼の工房を誘致」「能美東西連絡道路沿線などの農地の活用」「歩行者にやさしい歩道の整備」「デマンドバスの導入」などが挙げられました。

【満足度・重要度】

	満足度	重要度
評価が高い項目	①暮らしの質の向上 ①工業の振興 ②移住・定住の促進	① 道路の維持・整備 ②暮らしの質の向上 ③ 居住環境の充実
評価が低い項目	①観光と交流の促進 ②商業の振興 ③林業・山村の振興	①歴史・文化・伝統の継承 ②里山・自然の保全と活用 ③観光と交流の推進

- ※1 下線は地域全体の平均値よりも満足度の値が低く、重要度の値が高い項目 出典:市民満足度調査(2017年)
- ※2 次の項目はいずれの地域においても上位を占め、地域差がみられないため除外した

満足度:「上下水道の維持・整備」「歴史・文化・伝統の継承」「里山・自然の保全と活用」「水環境の保全と活用」 重要度:「上下水道の維持・整備」

2) 地域の課題

地域全体	・日常生活に必要な都市機能が集積した地域生活拠点としての機能の維持・充実 ・空き家・空き地の有効活用 ・既存施設の集約を活かした「福祉子育て・防災拠点」としての拠点機能の確保
土地利用	・中心市街地である寺井図書館周辺の活性化 ・適正な土地利用の誘導による、優良農地の保全および集落の維持・活性化 ・幹線道路沿線における住宅や都市機能の誘導
都市施設	・能美東西連絡道路の整備促進 ・民間路線バスと連携した、のみバスを含めた公共交通の利便性向上
地域環境・ 地域資源	・特産品としてのハトムギの付加価値の向上 ・文化財の景観・環境の保全と活用 ・白山眺望の保全
安全・安心	・河川の環境保全や治水対策および災害時の避難場所・避難経路の確保

3) 将来像・地域づくりの基本方針

(1)地域の将来像

福祉・子育て・商業・防災などの多様な機能の集積による にぎわいを創造する地域づくり

古くから形成されてきた市街地の商業機能に加え、子育て・福祉や防災などの多様な都 市機能が集積しており、本市のにぎわいを牽引する拠点として、今後も機能維持や連携強 化を図ります。

また、能美古墳群などの歴史資源や、八丁川、宮竹用水などの水環境、市特産品のハトムギなどの地域資源を有しており、これらの良好な環境を保全・活用し、市街地と集落・田園環境が調和した魅力的な地域づくりを進めます。

(2) 地域づくりの基本方針

①土地利用・拠点整備の方針

商業機能やふれあいプラザをはじめとする子育て・福祉の関連施設および防災センターなどの多様な都市機能が集積する地域拠点として、既存ストックを活用しながら中心市街地の活性化を推進するとともに、幹線道路沿線における交通の利便性を活かした商業・業務系の土地利用の誘導を図ります。

A. 都市系

住居地	低層住宅 地区	寺井山古墳公園周辺や寺井中央児童館周辺の住宅団地においては、今後とも低層でゆとりある良好な居住環境の維持・充実を図ります。
	一般住宅地区	市街地内においては、現状の市街地環境の維持・充実を図りつつ、市街地縁辺部や市街地に囲まれた一団の農地においては、移住、定住による宅地需要を踏まえながら、住宅地としての土地利用を検討します。
商業地	一般商業地区	• 寺井図書館周辺の市街地中心部においては地域と行政の協働に よる中心市街地活性化を推進するとともに、既存のストックを 活かしながら、商業や福祉・子育てなどの日常生活に必要な都 市機能の集積を誘導することで、まちの拠点としての機能向上 を図ります。
	沿道商業· 業務地区	(都)大成末寺線や(都)国道線沿線の既存商業集積地においては、立地特性を活かし、活気ある沿道空間の創出に努めます。能美東西連絡道路などの幹線道路沿線においては、地域の利便性や活性化を高める商業・業務系土地利用の誘導を図ります。

工業地	産業集積 地区	地域北端部の国道8号沿線においては、既存の工業団地の環境 を維持しつつ、交通利便性を活かしたさらなる産業集積に向け て企業誘致を推進するとともに、周辺の住環境や自然環境との 調和を図ります。
地	職住近接 地区	大成末寺線沿線の一部においては、今後も小規模な工場や事務 所などとともに、職住近接型の住宅系土地利用の誘導を図ります。

B. 田園・自然系

集落・田田	集落地区	本地域に点在する集落部においては、将来的にもコミュニティを維持していくため、空き家・空き地も活用しつつ、生活利便施設も含めた住居系土地利用の誘導を図り、集落の活力維持および活性化を図ります。
園 地域	田園地区	田園部の良好な農地については、無秩序な開発による土地利用 の混在を防止し、本市を特徴づける良好な田園環境として保全 します。

C. 拠点

まちづくり拠点	ふれあいプラザをはじめとする子育て・福祉の関連施設および 防災センターを核とした「福祉子育て・防災拠点」を形成し、多 世代交流や災害に強い地域づくりを推進します。
地域拠点	寺井図書館周辺の市街地中心部においては、都市基盤の集積を 活かし、日常生活に必要な機能の維持・充実による「地域拠点」 の形成を図ります。

②都市施設の整備方針

能美東西連絡道路をはじめとする道路網の整備を促進するとともに、公共交通の利便性 の向上により、地域内外との交流や連携を強化します。

A. 交通施設

主要幹線道路(基幹都市軸)	能美東西連絡道路は本市の東西を連結する重要な路線であり、 これを構成する(都)高堂泉台線の早期整備を促進し、地域内 外の連携強化を図ります。
幹線道路 (地域連携軸)	• (都) 粟生佐野線については、地域内外の連携や日常生活を支える重要な路線であり、適切な維持管理による機能維持に努めます。

主要な生活道路	市街地内の主要な生活道路については、今後も地域の利便性を 確保するために適切な維持管理に努めます。
集落内生活道路	歩行者や自転車に優しい安全・安心な道路空間の創出および住 民と行政の協働による維持管理を促進します。
公共交通	民間路線バスとのみバスの連携により、公共交通の利便性向上を図るとともに、交通結節点としての機能の充実により、地域内外との連携強化を図ります。公共交通の積極的な活用による利用促進を図ります。

B. 公園緑地

都市公園	寺井山古墳公園については、歴史資源の保全とともに、能美ふるさとミュージアムと連携した体験学習機能が発揮できる公園として活用します。
その他の公園・緑地	● 各町会に整備されている小公園については、施設の整備状況に 合わせて地域コミュニティ醸成の場、子ども達の遊びの場とし て充実を図るとともに、適切な維持管理を推進します。

C. その他都市施設等

海岸・河川・水路	八丁川や宮竹用水などについては、関係機関との調整を図りながら水質保全など水環境の保全に努めます。
供給・処理施設	上水道については、老朽化した施設・管路の計画的な更新や耐震化を進めるとともに、下水道の適切なマネジメントにより、生活環境の改善、公衆衛生の向上、河川の水質改善を図ります。廃棄物では、5 R運動の推進によるごみの減量化を目指します。
その他の公共公益施設	 健康福祉センター「サンテ」、ふれあいプラザ(子育て支援センター・子ども発達支援センター)を活かした子育て支援体制の強化を図ります。 能美ふるさとミュージアムを活用し、歴史や文化・教育による交流の促進を図ります。 小学校やその他の公共公益施設については、老朽化に応じた改修や耐震化、バリアフリー化などによる施設機能の維持・充実に努めます。

③地域環境形成の方針

国指定史跡の古墳群や八丁川、宮竹用水の水環境の保全・活用を図るとともに、良好な 白山眺望を維持していきます。

自然環境	八丁川、宮竹用水については、貴重な自然植生や水環境の保全 に努めるとともに、人と自然がふれ合える場所としても活用を 図ります。
地域資源	・寺井山古墳群については、その周辺部を含む環境の保全を図ります。・市特産品のハトムギの付加価値の向上を図ります。
景観	大長野町や寺井町からの白山眺望については、各種規制・誘導などを行い、眺望の保全に努めます。

④安全・安心な地域づくりの方針

防災センターを核とした防災拠点としての機能強化を図るとともに、防犯機能の充実や 交通安全の強化、地域福祉による支え合いなどにより、子どもから高齢者まで、誰もが安 全に安心して生活することができる地域づくりを推進します。

防災	防災に対し、体と心で感じる学びの場として防災センターを活用するとともに、防災拠点機能の充実を図ります。近年頻発している震災や大雨に対しては、自主防災組織の結成・活動支援の推進や各種ハザードマップを活用した情報提供、防災情報伝達システムの構築などによる防災対策に努めます。
防犯	• 防犯効果の向上が見込まれる環境面に配慮したLED灯を推進するとともに、関係機関と連携した防犯意識の啓発や防犯パトロールの強化、それらを補完する防犯カメラの設置に取り組みます。
交通安全	 通学路、生活道路は人優先を基本方針とし、歩行者と自動車の分離や自動車への注意喚起と速度抑制を徹底するため、ハード・ソフト対策の一体的な取組みを推進します。 特に、寺井保育園、寺井小学校及び寺井中学校周辺における子どもの移動経路等は、ゾーン 30 による面的低速度規制等によって重点的に取り組みます。
地域福祉等	身近な地域でお互いに支え合う地域活動の核となる地域福祉委員会の活動の充実を図ります。

